

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



だんだんとおじさん化したボッティ、チャン、テモテ(カンボジア孤児院)

皆さまの御支援、御協力、いつもありがとうございます。

昨年12月、ザンビア孤児院で新しく自動車を購入することができました。

ザンビアでの働きには自動車は不可欠であり、これでまた、様々な働きを行うことができる、とザンビア孤児院では大変喜んでおりました。

本当に、皆さまの尊い御支援を感謝致します。

ザンビア国内の様子はといえば、いつ不足の事態がおきても不思議ではない不安定な状態ですが、孤児院と、孤児院に関わる子供たちは無事の様です。

カンボジアやフィリピンの子供たちは皆元気なようで安心しております。

しかし当然、子供たちの成長と共に、必要は色々と増えていきます。

いつも同じことばで大変恐縮ですが、これからも皆さまの御支援、御協力、どうかよろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

1階にある部屋は、床のタイルが割れたところから汚水が出て来るようになったり、壁や天井など雨の被害を受けたところなどを今回補修し修理すること出来ました。この必要の為にも、皆様からのご支援とご協力を頂きまして、本当に感謝致します。子ども達が毎日乗っているブランコにヒビが入っていたので、この作業に来ていた方に聞いてみたところ、溶接するための機械を持っているから出来るよ、と言って頂いて修理して頂くことが出来ました。こちらは、溶接さえすればまた乗れるから、と思っていたのですが、思いがけなく色を塗り替えた方がいいから、とペンキまで頂きました。子ども達に、もう1色選んでもらい、ペンキ塗りは子ども達自身が担当してくれて、ブランコもリニューアル出来て綺麗になり、皆で喜んでます。2月と3月は、それぞれの学校で進級に関わる前期試験が行われます。子ども達も、緊張した面持ちで準備に入っていますが、みんなの良い結果をスタッフ一同祈り願っているところです。



色を塗替えて綺麗になったブランコに喜ぶ子ども達

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン、特にミンダナオは今、台風サンバに襲われています。幸い深刻な被害は受けていませんが、大雨洪水警報が出されています。

2月は特に学校行事はありません。保護者たちから、学校行事のための支払いが大変だと言う声が出ており、学校側が行事を行うのを控えているようです。

フィリピンでは大きな改革が行われていて、課税額の変化により食品や運賃も値上がりしているので、学校行事にかかる費用も高くなっています。学費や学用品も2倍になっています。

2月28日は子どもたちが通っている学校の設立記念日です。教育委員会の決定によりですが、今年度の修了は3月23日～4月2日のいずれかになります。

今年も皆様のご支援によって、子どもたちが学校に通うことが出来たことを心から感謝致します。来年度も、どうか皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



昨年の学校創立記念日の様子

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。

ザンビアは数ヶ月間にわたって続いたコレラの流行がようやく収まり、日常生活を取り戻すことができました。この間、商店や露店、レストラン等が閉鎖され、町に人の通りが途絶えたため、物乞いや日雇いで現金を得ていたストリートの子どもたちにとって、非常に厳しい日々が続き、何度か食料の救援を求める電話を受けました(普段は、滅多にこのような電話はかけてこないのですが)パンやジュースなどを持って駆けつけると、空腹を忘れるために、更にドラッグにのめり込んでフラフラになっている子ども、若者たちが橋の下に集まっています。雨が追い打ちをかけて、空腹と寒さに苦しんでいる、そのような姿を見るのは辛いことでした。週に何回かでも、彼らを私達のもとに運んで、シャワーと食事を与えることが必要と考えています。どうか、もう一台、特に四駆の購入のためのご支援と、彼らへの日々の糧のための継続したご支援をどうぞ宜しくお願い致します。



橋の下のストリートキッズ

ブラジル孤児院レポート

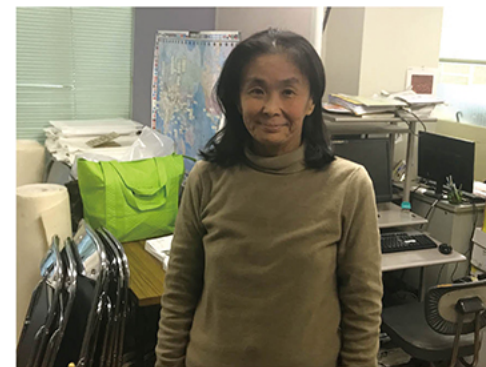
松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。

近年、アラサトゥーバでは夏は45度をこえる暑さでしたが、今年は雨が多い影響か、暑くても35度ほどで、過ごしやすい夏でした。

私の住まいの屋根裏にガンバという小動物の一家(敷地内にあるマンゴーの木の枝を切った業者によると6匹)が住みついて、消防車まで出動する騒ぎになりましたが、捕獲できず、住まいを一旦解約しました。そのことが原因かは分かりませんが、下痢や発熱などの体調不良も起こってきたため、2月初旬に一時帰国して体勢を立て直しをしています。一時帰国の間は、この頃は家族の協力も得られるようになってきました。体調はかなり回復してきました。

また、東京の高円寺で3度の活動報告会をさせていただきました。支援して下さる方々が1人でも多く起こされますよう、日本でもできる限りの支援要請活動をしたいと願っています。引き続き皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



一時帰国中の松本さん